

# Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローターリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

## 週 報 第 2 6 6 7 回

2022年9月2日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

### 今回例会行事

担 当：会員増強委員会

テーマ：今年度の会員増強活動について

卓話者：市原 正男会員

### 次回例会 9月9日

担 当：出席委員会

テーマ：分・行・忠・信と鉄骨工事

卓話者：山浦 恭宏会員

◆◆◆第2666例会◆◆◆

司会 中島貞好

「奉仕の理想」

### お客様

国際ロータリー第 2790 地区

ガバナー 小倉 純 夫 様

地区幹事長 織田 信 幸 様

地区幹事 堀井 猛 志 様

地区幹事 岩瀬 朋 彦 様

第 12 グループガバナー補佐 野池 尚 美 様

グループ幹事 齋藤 初 美 様

### 会長挨拶

会長 杉 晟

皆さん、こんにちは。

今日も、初回からお話しているロータリーの話です。今回は、8月5日の例会の最後に話した「先達たちのロータリーの精神とは、戦前戦中も例会で親睦と奉仕を続けることだったのでしょ。どのような例会だったのでしょ。」について調べてみました。調べていく内に良い資料が出てきました。それは、「名を変え、姿を変えて戦時下の弾圧を切りぬけ戦後に引き継いだロータリークラブの精神(戦時下を生き抜いたロータリークラブ)」2000年2月26日、創設80年を迎える日本ロータリーの第2510地区、第4・第5分区合同IMが、札幌で開かれました。その席で『21世紀ロータリーに未来はあるのかー

弾圧に耐えたロータリー』と題した、札幌ロータリークラブ会員でパストガバナー西條正博氏の基調講演の記録がありました。内容は、日本のロータリアンにはあまり知られていない日本のロータリークラブの戦時下における弾圧の歴史であって、日本のロータリークラブ創設から終戦までの29年間の歴史を語った物です。そして、ロータリークラブの理念にとりつかれた戦前のロータリークラブ会員は、クラブの名を変え、姿を変えながら戦争を切り抜け、ロータリークラブの精神を大切に戦後に引き渡して、やがて今日の隆昌をみることになるのです。こうした、日本にロータリークラブが設立されてからの発展と弾圧の20年と、後年「隠れキリシタン」といわれるにいたった戦時下・占領下の9年間を合わせた29年間をたどることによって、ロータリークラブの未来を考えてみたいと思います。とあります。21ページありそれを参考にしました。

シカゴの都会の孤独を嘆き憂えたポール・ハリスら4人が語り合い、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブのはじまりです。クラブの目的は、会員の親睦と相互扶助。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名づけられました。一業種一人制であった。4人のロータリークラブ誕生の2年後のこと。弁理士のドナルド・カーターに入会を勧誘し、断られたのです。理由は「自分たちの利益だけを追求する団体は、社会的に意味がない。そんな団体はやがて崩壊する」という

のです。

38歳になったポール・ハリスは、その言葉にすっかり感心しました。そして「自分のまわりがみんな幸せでなければ、自分たちも幸福になれないのだ。世のため人のために、何か自分たちのできることをしよう」と決意し、直ぐに、綱領の「相互扶助」の文字を削除したのです。ロータリークラブに、はじめて奉仕の概念が芽生え、同時に地域社会への奉仕の概念が生まれた瞬間でした。

その後、1914年(大正3)に勃発した第1次世界大戦とその戦後処理を経験したロータリークラブは、「奉仕のなかに地域社会を超えた国際奉仕」という概念を抱くに至り、国際ロータリークラブ連合会は1922年(大正11)に現在の国際ロータリー(Rotary International)へと改称したのです。

1921年スコットランド・エジンバラで開催されたロータリー国際大会でRIの定款を修正し「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」という目標を加えました。そして翌年1922年の国際大会で、RIと各クラブの定款が全面的に変更されました。これによりそれぞれ異なっていた目的が「ロータリーの目的」へと置き換えられ、この新しいアプローチが平和への展望を持ち続ける鍵となりました。

ロータリーの綱領は時代と共に変更が繰り返されて、1951年にその最も重大で最後の改訂が行われた。現在のロータリーの目的(Object of Rotary)です。

では、戦時下、各クラブはどのようにクラブ運営をしていたのでしょうか。全国的な記録はほとんど残っておらずよくわからないのですが、札幌職能クラブ(札幌ロータリークラブ)に限定して若干のことをご紹介しましょう。

1942年(昭和17)12月3日、札幌ロータリークラブ創立から数えて10周年になるので、札幌職能クラブは記念祝賀家族懇親会を開催した。また、12月23日の例会では、歳末社会奉仕事業として、札幌市銃後奉仕会に100円、札幌育児園、広島天使園、札幌養老院に各50円寄贈することを決議しました。

1943年(昭和18)は、戦況が不利となるなか、社会奉仕委員会によって軍人援護の事業もおこなっています。

1944年(昭和19)3月1日の例会では次のことを決議し、即日実施しています。

毎月第一例会に、国民儀礼として

皇居遥拝 国歌奉唱 軍人勅諭奉読

黙祷祈願 一をおこなうこと。

これがロータリークラブ(?)の例会かと首をかしげたくなりますが、このようにしなければ、戦中における政府の弾圧の下、例会を保持できなかつたのでしょうか。“隠れキリシタン”と言われる所以(ゆえん)です。

しかし、ひそかに楽しみあう会合もありました。1944年には食料もひっ迫しており、例会では会食はおこなわれていなかったのですが、12月20日夜に忘年会を催して久々に夕食を共にし、会員寄贈のウィスキー、佃煮などで食膳がにぎわったとのこと。このような状況下でも、戦前のロータリークラブは、なぜ例会にこだわったのでしょうか。

米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場である」と言いました。ロータリーの理念は、現代にあっても理想的な人間の生き方、社会のあり方、あるいは企業のあり方に通じるものなのです。戦前のロータリアンはみんなこれを信奉し、例会をロータリークラブの中核にどっしりと据えていました。例会の途中で退席するなど、考えもしないことでした。中途退席が目立つようになったのは、戦後の1960~61年(昭和35~36)ごろではないかといわれています。

そして、RI事務総長補佐ジョージ・ミーンズの尽力と、戦中にも関わらず例会をつづけた日本の会員の努力が決め手となって、日本はようやく国際ロータリーへの復帰が認められた。

米山梅吉と福島喜三次がもちこんだロータリー精神は、多くの先輩ロータリアンの筆舌に尽くしがたい努力によって戦時下の弾圧をも乗り越え、戦後に生きる私たちに伝えられました。わが身の命の危険もあるのに、先人たちはなぜにそこまで例会を続け、ロータリークラブを存続させてきたのか。日本のロータリークラブが80周年を迎えるにあたって、歴史をひもとく、あらためて彼らの熱意の源はなんだったのかと考えたとき、次のようなロータリークラブの根底に流れる理念があったからでしょう。

ロータリークラブ発足時は、会員の親睦と相互扶助が目的だったものの、わずか2年の間に素晴らしい理念を獲得していきました。すなわち、「世の中が良くならなければ、自分たちの幸福もない」ということです。

他人を幸福にしなければ、自分も幸福になれないのです。そのためには、自分がもつ知識や情報を相手に差し上げ、相手の知識や情報をいただいて自分もよくなる努力をする。それは、人間性においても同じ論理だと

いえます。道路に落ちている紙くずを拾うことで、それまでなんの関係もなく通っていたあなたと私のあいだに、気持ちの良い町並みという共通の空間がうまれるのです。

ただ、最近のロータリーは組織が大きくなりすぎて、ロータリーのもうひとつの基本「自分を磨く」ということが、少しおろそかになっているような気がするのです。

また、最近では戦争を知らない若いロータリアンもふえています。私が「弾圧に耐えたロータリー」を講演のテーマに選んだのは、戦時下で自分の命の危険もかえりみずに例会をつづけてロータリーを復活させた先輩ロータリアンの苦労と情熱をふり返って、あらためてロータリーへの情熱を心にもやしてほしいと考えたからなのです。

それは私たちいまのロータリアンが、21世紀という未来のロータリアンに、この素晴らしいロータリーの理念を伝える大きな原動力となると思うのです

#### 〔戦時中も例会を継続したクラブ名〕

帯広木曜会・小樽火曜クラブ・札幌職能クラブ・盛岡木曜会・仙台火曜会・東京水曜クラブ・横浜同人会・新潟火曜クラブ・名古屋同心会・京都水曜会・大阪金曜会・西宮火曜会・神戸木曜会・岡山水曜会・今治木曜午餐会・高松職能奉仕会・福岡清和会  
計 17RC

## 幹事報告

幹事 中村賢治

- ・8/25 会長幹事、他数名で大中会員の葬儀に参列しました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
- ・8/27 米山奨学会委員長セミナー zoom 開催 佐久間委員長参加
- ・8/26 青少年交換留学生の佐々木彩心さんが帰国します。



## お祝い

本人誕生日：浅野正敏会員・安宅会員

## 例会行事 ガバナー公式訪問 国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー 小倉純夫様



### これからのロータリーを考える ～本年度 RI テーマと地区活動方針について～

#### 1. 本年度 RI テーマと地区活動方針について

2022 年度 RI 会長ジュニファー・ジョーンズ氏(RI 初の女性会長)は、本年度テーマを IMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー)として、「より良い未来をイマジン(想像)し、世界により良い変化を!」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう!」従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう!」は、第 2 スローガンとする。ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

#### 2. ガバナーの任務・役割について

クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP、CLP の活用→クラブ、会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討(ビジョンと行動計画)グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと。地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築職業奉仕の大切さ(四つのテスト)、クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認例会は心のオアシス(佐藤千寿氏) コロナ禍の中でのロータリー活動(パンデミックの教訓)2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず(第7波の到来)→クラブ例会・行事等の中止(又はオンライン化)→親睦奉仕活動の停滞、会員の減少→最近の感染者激増→コロナとの共生



(会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

### 3.ロータリーの歴史を振り返る

1905 年→親睦と相互扶助から出発(一業種一会員制)→社会奉仕の考え→四(五)大奉仕へ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り(ロータリーの友6頁)・ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方。セントルイス大会決議23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」(Enter to Learn, Go forth to Serve)例会(親睦)→出会い、交流(切磋琢磨)→人間としての成長=信用→安定した経営奉の実践・日本のロータリーは周回遅れか?(ガラパゴス化) Vocational Service(職業奉仕)に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

### 4.ロータリーの変化とその対応

2001年:一業種一会員制の撤廃

2013年:職業のない人の入会資格を認める・ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心)I serve から We serve へ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用 {例会と出席}{会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる・2019年規定審議会更なる柔軟性の確認 メークアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ローターアクトクラブに RI加盟を認める・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか?→RIの危機感(会員の高齢化、減少)→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加(別紙)→悪循環か? RIとTRFの一体化→ {いずれライオンズクラブとの合併か?・地域に応じた自治権、裁量権を認める方向?}

### 5.これからのロータリーについて

ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観(親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ)は不変・ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI(多様性、公平性、包摂[生]の提唱・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確(北米の会員の急減が実施の理由か)2つのパイロット地区で実施(2022年4月規定審議会決議)

6.アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ、女性だけのクラブ、若者や老人だけのクラブ等。元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは?→CLPの活用

1、クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定(毎年の見直しとチェック)

2、会員同士の交流を深める(クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る)

3、会員の積極的参加を促す(例会、奉仕活動)財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動

4、会員の増強(退会防止)若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する

5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施

6、ITの推進(コロナ禍での例会の在り方を再考する)

### ～ニコニコ BOX～

¥13,000-

☆小倉がハナ-八千代RCへようこそ

齋藤敏夫・君塚欣哉・江口・宮野・浅野正幸  
江頭・渡邊・宮田・遠藤・風間・安宅・飯生

### ～友愛 BOX～

¥38,000-

☆77歳になってしまった。

若い時が懐かしい。浅野正敏

☆66回目の誕生日を

迎える事が出来ました。安宅

☆お盆にお花ありがとうございました。石渡

☆小倉がハナ-ようこそ八千代RCへ!

杉・中村・池田・朝戸・小村・上代・佐久間  
君塚桂一・菊川・浅野正敏・中島仁・日下部  
杉山・及川・栗原・佐野・中島貞好・古川

☆先週欠席しました。稲山・石渡

## 研修会

研修リーダー 飯生高一郎

今年初めて研修会を作り、クラブ協議会の中で、研修会を開くこととなりました。本日は会長経験者の方から、宮田会員、浅野正敏会員、最後に私からお話いたします。

サポーター 宮田慎吾

私がロータリーに入会したのは35年前の賀川会長、三井さんのお父さんが幹事の年度で

した。推薦者は2・3年前にお亡くなりになられた黒沢酒造雄さんです。その先輩は私より1年程先に入会して、翌年すぐ私を推薦したので、まだロータリークラブを良く知らないものが新入会員を推薦してよいのか！と騒ぎになったと後程伺いました。当時、会員増強の話や増強のフォーラムになると「質か量か」と話題になるのが常でした。入会の勧誘には宮野さんがお出でになり、R入会の基本的な説明をして下さったことと思います。当時は会長を終るとR情報委員会に所属し、3年目に委員長になる規約がありました。因みに幹事は3年委員会の職業分類委員会に入り、やはり3年目に委員長になる習しでした。従って3、4年前に宮野さんが若くして会長だったのでしょうか。その年度は私1人の入会でした。入会して間もなく4、5人の新入会員の為の研修会、夜の炉辺会談が催されました。ファイアー・サイト・ミーティングは90年程前から新入会員へのロータリー情報を提供する為に始められたもので、Rの初歩的な質問など、気易く切り出せるし、堅苦しくなりがちな課題も炉辺会談にすれば効果的だと言われていました。その時の研修リーダーは鈴木憲輔さんだったと思います。鈴木先生は当クラブ只1人のパストガバナーでおられました。地区でも職業奉仕のオーソリティとしてご活躍されました。今日はガバナーをはじめ大勢のお客様がおられて話にくいのですが、当クラブでも近い内に2人目のガバナーを出すべき頃だと思っておりますので、皆さんお考えになって頂きたいと思います。

当時、ロータリーとライオンズの違いも知りませんでした。ライオンズは駅前に時計塔があったり、道路に交通安全の大きな看板があったり、歩道橋に横断幕があって名前は知っていましたが、ロータリーのことは然く訳かりませんでした。それでも「ロータリーは宣伝しなくてもよい」と隠匿の美をよしとする風潮がありましたし、「ロータリーは秘密クラブでよいではないか」とまで言う強烈な先輩さえおられました。そして炉辺会談で「ロータリーのアイサーブ：個人奉仕と、ライオンズのウィーサーブ＝団体での社会奉仕をする基本的な違いを知りました。ロータリーが誕生したのは20世紀初頭のシカゴですが、5年後に団体奉仕を志す人達がロータリーから分かれていったのだだったと思います。その頃のシカゴは商道德の欠如が目につくようになって、その風潮に耐えかねた青年弁護士のパールハリスと友人3人が1905年2月23日にシカゴロータリークラブを誕生させた歴史は皆さんご承知の通りです。その時代のシカゴは商道德と言うよりも、人心が荒廃していたからこそ商道德も乱れていたのでしょうか。少し後

に禁酒令がしかれ密造酒が横行して警察・エリ奥特ネスがいくら取り締まってもままならず、あのゴットファーサーのアルカホネが君臨したのもこの時代です。昨年風間さんから借りて読んだ本はアルカホネの孫の自伝で、日本でも企業活動していたように思います。

脱線しましたが、ロータリーの個人奉仕といっても具体的に何をすればよいのかと考えたとき先ずロータリーの3大義務を果たす事があります。第1に会費を払う事。次に読まれないベストセラーと言われているロータリー雑誌を購読する事。そして出席をする事がクラブ奉仕になり、出席義務が厳しかったので出席はその年度の大きいなる貢献でありました。昔は連続欠席をすると退会処分にされても致し方ない決まりがあり、その為にメイキャップを推薦者や出席委員会が誘って連れて行ったりもしていました。そのメイキャップも昔は例会前と後1週間ずつだったものでしたが、前後各2週間となり、3年位前からは今期中なら有効とか、またeクラブがあってパソコンで例会を見ればメイキャップになるようですが。。。規約がどんどん緩くなってしまって良いのでしょうか。緩くなれば果たして出席するのでしょうか？何といってもロータリーの1業種1人の大前提が崩れた時から、もう基のロータリークラブでは無くなってしまった様に思うのです。うちのクラブの先輩達。上代さんのお父さんや秋葉さん達は30年も35年も皆出席で、秋葉さんは例会に熱心のあまり、出席している間に乳牛が1頭死んでしまった話を聞いたこともあります。そして皆さんとても優しく、親切でクラブにもとても熱心だったと思います。そうした大先輩に接するにつけ「実るほど頭の垂れる稲穂かな」の言葉が時々「脳裏を過る」のでした。自分はキラキラしていて光っていたでしょうから、年を取ったらこうゆう人になりたいと憧れてもいました。内のクラブは良い伝統が有って、若い人も休むことが出来なかった様に思います。

小倉ガバナーは「ロータリーの基本は親睦であり、奉仕です」「何よりもロータリーは楽しくなければ続けることが出来ません。楽しく奉仕活動を実践していきましょう」と述べておられます。昔から「ロータリーに親睦が無ければロータリーでは無い。親睦だけではロータリーでは無い」とも言われています。ロータリーにはあの高邁な5大奉仕が規定されていて、地球上からもう少しで小児麻痺が無くなるのに、99.9%なのに今週アメリカとイギリスからも患者が出ました。またロータリー財団の奨学金制度があり、あの国際難民高等弁務官の諏訪貞子さんや女性宇宙飛行士の松戸の山崎直子さん等がロータリー財団の留学生でもありました。今年、当ク

ブからアメリカシガン大学へグローバル補助金で留学した松井智世さんは、やがて素晴らしく偉い人になると思います。いずれにしても、そうした人達を支援して来たローターに自分も籍をおけただけで誇りに思います。

話は変わりますが、今セイロン、スリランカが「中国の債務の罠」にはまって大変なことになっています。大統領は逃げ出してしまい、物価は値上がりし、米は 2.5 倍に、パンや卵は何倍にもなってしまい、医薬品は手に入らない状況の様です。ローターの地区には直接関係ないと思いますが、当クラブの会員ではスリランカの里子を支援している人が 6、7 人居るのではないのでしょうか。特に大中さんは里子も 2 人支援しているはずですよ。どなたか引き継いで下さるとよいと思います。

ローターにはさまざまな業種の人々が居て、各業種で大切な役割を果たされておられるでしょうし、そのほか法人会や商工会議所、市役所の関係、警察や消防、社会福祉など、さまざまな組織で貢献されておられます。保護士の方も何人か居ます。そうしたメンバーからさまざまなお話を伺って刺激を受け、自分には今、どんなアイザーフが出来るか思考する場がロータークラブだと思っています。ガバナーはロータリアン 1 人ひとりが今自分に何が出来るか考え、出来ることを確実に実行することです。ともおっしゃっておられますので、私は高齢者ですが、命のある限り頑張ります。

ご清聴ありがとうございます。座居ました。

### 副リーダー 浅野正敏

今日は RC の実態についてお話ししようと思います。国際ローターは何をしているのだろうか、本部はどこにあるのか、決算はどうなっているのだろうか、どういう活動をしているのだろうかという様な事を調べてみました。皆さんと同じ様な話になりますがお聞きください。

ローターは 1905 年にポールハリスが 3 人で持ち回りでのミーティングとして始めました。1910 年にはアメリカの 16 のクラブが集合し、国際 RC になりました。私も商売を始めて色々な事があり、悩みながらやってきました。この RC も人数が増えて、部屋が狭くなってきたりと、様々な変更を繰り返して大きくなってきました。最終的にはシカゴで組織が出来上がりました。RI の会合は 711 号室で行われたそうで、今でも見る事が出来るそうです。

RI の年間収入、支出、決算について、私たちは毎年会費を納めています。また人頭分担金や、財団への寄付などは、いったいどの様に使われているのでしょうか。全ての

みんなの為に使っているのではありません。ポリオ撲滅、井戸を掘って飲み水を供給する事業、学校に行かれない子ども達の支援など、様々ないい事に使われていることがわかります。R 財団としてある年度では 3 億 6,200 万ドルからグローバル補助金、地区補助金などに使われていると書いてありました。

### 米山記念奨学事業について

日本の大学で学ぶ外国人留学生を対象にした事業で 1952 年に始まった事業です。海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本に招いて支援する米山基金の基になっているそうです。日本のローターの父と言われた米山梅吉の功績を称えて名づけられ、国際親善と世界の平和に寄与するという事業の目的を今日まで貫いています。米山奨学会として 2020 年には 883 人、事業費 10 億 6,000 万円。これは R 財団の奨学生とほとんど同じくらいの人数を奨学生として支援しています。これは日本唯一の事業です。中には韓国中日大使になったり、スリランカの警察庁長官になったり、韓国や台湾のガバナーになったりして世界で活躍しているそうです。しかし、右肩下がりの日本で、転ばぬ先の杖はありませんが、日本の現状を見据えた寄付をしていかなければならないのではないのでしょうか。今の日本はサンライズどころか、サンセットという方向に向かっていると思っています。昨日のラジオで、ファミリーレストランが 8000 何店舗ありますが、今年になって 10% 以上閉店していると言っていました。原材料の高騰、人件費の高騰が理由ではないでしょうか。栃木県のホンダの工場もあと 1、2 年で閉鎖される予定だそうですし、大阪で農機具を作っているクボタの工場も閉鎖予定です。インドに 3,000 億円かけて工場を作るそうです。日本に作らないで海外に作っていくのです。広島の日新製鋼、鹿島の住友金属なども大縮小しています。今の日本は努力しても少しずつ周りに水が迫ってきて、自分の陣地が少なくなっているという事をもっと考えなければならぬと思います。せっかくお金を使うなら、日本の中でこども食堂などに使うのはどうでしょう。あと少しで夏休みが終わりますが、給食がなかった夏休みに痩せた子どもが沢山いるという現実があります。まずは自国をしっかりと守る努力が必要なのではないのでしょうか。

八千代 RC には女性会員がいないのですか？と聞かれたことがあります。今年度 RI 会長は女性で、女性会員を 30% に増やしようとおっしゃっています。日本でも女性会員のいるクラブが増えていますので、八千代



RCでも 2/3 以上の賛成があれば可とする、などの工夫をしていくことも必要なのではないかと思います。

### リーダー 飯生 高一郎

今日は日本の歴代のパストガバナーさんや敬愛するRI理事の皆さんが長年愛してきた職業奉仕についてお話をしたいと思って居ります。その前に、小倉ガバナーさんに一つご質問があります。「それは7～8年前から地区で噂になっていたのですが、どうもロータリーから職業奉仕が無くなるのではと囁かれているのですが」、私がガバナー補佐当時のガバナーさんに質問したら、「その件はまだ日本の全国のPGさんが一生懸命残すようにRIに申し上げてるところですから、今年1年はその質問はしない様に」と言われて、そのままになっておりましたのでこの場で質問させて頂きました。今分かりますので結構ですので、最後の講評の処でお答えいただきたいと思います。

さて、職業奉仕は難しいとか、分かりにくいとかよく聞きますが、職業奉仕は職業を通じた奉仕活動なのだから例えば弁護士さんが、無料の法律相談をするとか、お医者さんが無医村に出かけて行って、無料で診療するとか、出前教室をするとか、そういのは立派な行為だけれども、職業奉仕ではなくむしろ社会奉仕であると考えます。「サービス=奉仕」と訳しておりますが、これは英語のサービスと日本語の奉仕とでは、多少違いがあります。日本語の「奉仕」とは

1. 仕えまつる事、2. 自己の利害を離れて長上の者や公共のためにつくすこと(ギブ&ギブ)。一方英語の「サービス」はずっと概念が広く、他のもののためになる行為となります。(ギブ&テイク)。一般の職業の方が日常の業務の中で普通に行う業務活動を(毎日行っている仕事を)ヴォケーションナル・サービス(職業上のサービス)と言います。要するに、ロータリーのサービスとは「一つは会員や友達やお客様への有償のサービスでもあり、もう一つは市民や高齢者や弱者への無償のサービス」の二つとなります。ここで問題なのが、普通日本語の「奉仕」と言うと我々が考えるのは、「無償の奉仕」つまりボランティアの方ですね。しかしロータリーの奉仕とは「有償の奉仕」も有るわけで、通常我々は常に有償の事業取引をして、その有償の事業取引をしてこそ生活が成り立つのです。そして社員も使い会社も維持できるのです。そして社会に無償の奉仕が出来、地域にも奉仕ができています。四つのテストに書

かれている、高潔で綺麗な正しい「有償の事業取引」は職業奉仕となります。(ギブ&テイクは職業奉仕、ギブ&ギブは社会奉仕となります)

日本ロータリーの初代ガバナー米山梅吉(1928-1931 年度)さん。2 代ガバナー井坂孝(1931-1933 年度)さん。3 代ガバナー村田省蔵(1933-1935 年度)さんまで合計7年間は職業奉仕と訳せずに職業サービスと呼び言語を尊重していたそうです。この「サービス」を「奉仕」と訳したのが職業奉仕を難しくした原因であります。

実は当八千代クラブに 1978～79 年にこの地区のガバナーを務めた鈴木健介先生が居りました。「職業奉仕の先生」という異名をとられた程で御座います。この鈴木先生の名前だけは出さずにいられない程、ご高名な先生であります。この地区内でも他地区でも多くの卓話をされております。それによりますと、職業奉仕は個人奉仕であり社会奉仕は団体奉仕であると明確に区別しておりました。要するに 1923 年 2 月 23 日(世界で第 1 回目の記念すべき例会が開会した日)ロータリーを作ったポールハリスもその他3人の仲間たちも仕事が無く友達もいないシカゴの町で、どうしたら気心の知れた友人を増やす事が出来るか、自分の仕事に如何にして繋げられるかをロータリーに求め出発したのでした。そして、「お互いの親睦と取引」を中心に据え、創立から5年間その仲間との互惠関係の取引内容を記載した大福帳が存在し、皆に見える様にしていたそうであります。またそれを管理する委員会も存在していたそうです。そして、お互い互惠関係で取引し合い、そこで利益を上げた中から個人的に奉仕できる何がしかを奉仕するという職業奉仕の考え方(ヴォケーションナルサービス)と呼び、今日に繋がっていると確信します。そして高潔で倫理観に満ちた四つのテストに書かれているような正しく綺麗な商取引を通じてお互い信用できる仲間作りからロータリーがスタートしました。職業奉仕はロータリーの第2奉仕部門です。以前はそれぞれの事業または専門職務において、またこれらを通じて他者に奉仕するのは、ひとえにロータリアン個人の義務でした。まさに職業奉仕は個人奉仕そのものでした。

ポールハリスがロータリーを創始したとき、世界を変えようなどとは思っていませんでした。米国の農村部のニューイングランド出身の若い弁護士は、世紀の変わり目のシカゴの産業の隆盛に追い付いていくのに必死でした。「風の強い町」として知られている

シカゴは労働争議の絶え間ない嵐の吹き荒れる町でした。シカゴの町は急拡大し、人口も爆発的に増えて行きました。このように乱雑に拡張した大都会の生活は、テンポが速いものの、孤独でした。ポールはシカゴに到着早々嘆いていました。「どこにでも人はいる。でも、友達はどこにもいない」と。ポールは、この疎外感を克服しようとして、3人の知人を誘い、(鉱山技師のガスターバスローア・石炭商のシルベスター・ビルディング・仕立業のハイラム・ショーレー)そしてローアの事務所で1905年2月23日(木)の夕刻に最初の会合を開いたのがロータリーの第1回目の例会でした。そして、この4人はお互いの事務所で「輪番に」会合を開くことを決定しました。また、羽ばたこうとしているグループの名称として「ロータリー」と呼び、会員を「ロータリアン」と呼ぶことに決めました。そして例会は毎週でなく最初は隔週だったそうです。そして例会ごとに友人を一人ずつ参加させて行って会員の増強に努めていったそうです。

最後に昔は、先輩が「ロータリーの名前は表に出さず裏に回って見えないところに、そっと名前を出せば良いんだよ」とか、「いろんな事業や街づくりにロータリアンが活躍してもロータリーの名前を出してもいけないんだよ」と言われておりました。まさにロータリーも日本人好みの「美徳の精神」か「武士道か」と言うところでは無いでしょうか。現在ではどんどん参加してロータリーの名前を出して公共イメージを向上させるように参画しなさい、地区補助金やグローバル補助金をどんどん使って良くPRしなさい。と言う風にどんどん社会奉仕重視に変革しつつあるようです。

## 講評 ガバナー 小倉純夫様

宮田さんの、最近のロータリーは基のロータリーではないというお話を伺って、入会して30数年となりますが、今のロータリーは以前のロータリーとは違ってきたなと思っております。ただ、実際に色々な意味で社会に貢献している事は間違いな

いと思います。

浅野さんからは、財団の収支のお話がありました。ご承知の通り、ロータリーは世界で最も透明度の高い団体として世界的な認証を受けております。お金がどの様に使われているかと言うのは非常に興味のあるところですが、その点はお心配ないと思っております。米山奨学会についても色々なご意見があります。確かに日本の現状からすると、日本の子どもの貧困を救済した方がよいのではというご意見はごもっともかと思ひます。私は米山奨学生を3年間面接しておりますが、優秀な私費留学生がアルバイトをしなければならないところ、米山奨学生になることによって、勉強に集中する事ができると非常に喜ばれています。世界の平和と国際理解を目的とし、世界と日本の架け橋になって頂くものとお考え頂き、ご期待頂ければと思います。

飯生さんの職業奉仕のお話は、有料でギブ&テイクの奉仕が本来の奉仕であるというのは私もそう思います。四つのテストはそれの実践であるという事でしょう。八千代RCの鈴木ハストカハナーの本を読ませて頂きましたが、素晴らしい方だと思っております。私は弁護士ですが、無料相談は社会奉仕だと思っております。例えば国選弁護は報酬が非常に安価ですが、この人が立ち直ってくれ、社会に少しでも役立ってくれる人になってもらえる様に一生懸命に弁護するという事は、弁護士にとっての職業奉仕だと思っております。職業奉仕は何かというのを説明するのは難しいですが、活動計画書の最初にあるように、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあり、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として各自の職業を高潔なものとする。という事であると思ひます。

近隣クラブ例会日		例会場		会員 総数	出席 対象者	出席者	%
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフクラブ					
火曜日	八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ	8 / 26	52	46	38	82.61
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館					
水曜日	佐倉中央R.C	第1ウィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリベート					
木曜日	佐倉R.C	フランス料理 シェ・ムラ					
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館					

9月のロータリーレート 1ドル¥139-

- クラブ広報委員会 委員長:田村隆治 副委員長:久土地 剛
- 出席委員長 山浦恭宏 ※欠席の際は必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。
- 例会日 金曜日 12:30~13:30
- 例会場 パッツ・ノヴィータ(八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F)